

新旅足橋、いよいよつながります！

国道418号の付け替え道路として、平成16年から工事を進めてきた新旅足橋の工事も、いよいよ12月に橋の両岸がつながります。



平成20年10月



平成20年3月



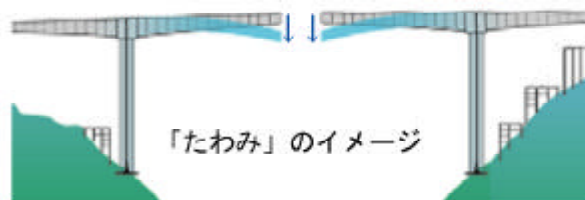
橋長462mの新旅足橋は、11月中旬には橋の中央部分がつながり、12月には両岸がつながります。これによって、潮南地区と八百津地区が旅足川の谷を越えて結ばれます。

今後は、21年度中に潮南までの供用を目指し、安全施設等の工事を進めていきます。

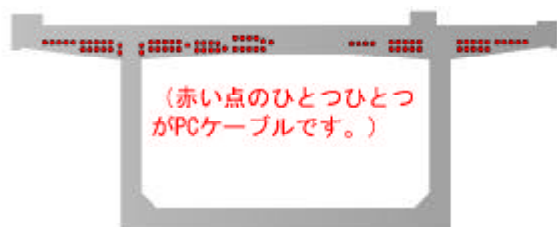
高度な技術で

ピ ッ タ ン コ

やじろべえのように2本の橋脚から張り出したコンクリートの橋桁は、延びていくにしたがって、徐々に「たわみ」が出てきます。



「たわみ」のイメージ



(赤い点のひとつひとつがPCケーブルです。)

主桁の断面詳細図

それを、中央で寸分の違いもなくピッタリとつなげるためには、橋桁の重量による「たわみ量」、その他施工の過程で発生する種々の「たわみ量」を精密に計算し、橋桁の中を通っている100本を超えるPCケーブルの1本1本を、大きな力で引っ張ることによって、橋を支えつつ「たわみ」を抑えます。

この高度な技術があって、はじめて新旅足橋が完成します。

第16回「新丸山ダムふれあい広場」を開催します！

11月9日(日) 9時～15時 於：新丸山ダム工事事務所

今年は、災害対策本部車や排水ポンプ車、照明車、衛星通信車などめずらしい災害対策車両がズラリと並びます。災害時に現地での拠点となる「本部車」の中はいったいどのようになっているのでしょうか？実際に見て、触れていただき、その大きさや頼もしさを実感してみてください。



災害対策本部車

今年のメニューは

- 災害対策車両の展示
- テックフォースのご紹介
- 丸山ダム水源地ツアー
 - ※「まちづくり」八百津「ネットワーク」主催
 - 詳細は、<http://www.cbr.mlit.go.jp/maruyama/>でご覧ください。
- 水資源機構コーナー（流木のお持ち帰りなど）
- 関西電力コーナー（変わり種自転車の試乗など）



照明車

新丸山ダムふれあい広場でお待ちしています！！